

問1 赤道付近の地域において、年間を通じて平均気温が25度を上回り、毎月多くの雨が降るといふ気候条件は、人々の生活や自然環境にどのような影響を与えますか。その説明として適切なものを選びなさい。(2021年 長野県公立入試 類似)

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 高温多湿な環境によって植物が一年中成長し続けるため、常緑広葉樹が密に茂るジャングルなどが形成される。 | 2. 年間の気温変化が小さいため、乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われるようになる。 | 3. 雨が多いため常に湿潤な環境となり、永久凍土が溶け出すことによる建物の倒壊を防ぐための高床式住居が普及する。 | 4. 一年中気温が高いため、水分を保持しやすい黒土(チェルノーゼム)が広がり、世界的な小麦の栽培地帯となる。 |
|---|---|--|--|

問2 ロシアのシベリア地方における人々の生活について述べた文として、永久凍土の性質と建築の関係を正しく説明しているものはどれですか。(2025年 広島公立入試 類似)

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. 建物からの熱が地面に伝わると永久凍土が融解し、地盤が不安定になるため、杭を硬い地層まで深く打ち込んで建物を支えている。 | 2. 永久凍土は非常に硬いため、建物の基礎を浅く作ることで、夏の表面融解による地盤沈下の影響を最小限に抑えている。 | 3. 夏の間に永久凍土が融解して発生する洪水から家屋を守るため、すべての住居は移動可能なテント形式になっている。 | 4. 建物からの熱を利用して永久凍土をあえて融解させることで、農業用水を確保し、建物の周囲で野菜を栽培している。 |
|--|---|--|--|

問3 偏西風と呼ばれる風の性質と、それがもたらす影響について正しく説明しているものはどれか。最も適切な記述を選びなさい。(2024年 宮崎公立入試 類似)

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 中緯度地域の上空を一年中西から東に向かって吹く風で、暖流の北大西洋海流と共に西ヨーロッパに温暖な気候をもたらす。 | 2. 赤道付近から中緯度地域に向かって一年中吹く風で、砂漠地帯の乾燥した空気を運ぶ要因となる。 | 3. ユーラシア大陸から太平洋に向かって冬に強く吹く風で、日本の日本海側に大雪を降らせる要因となる。 | 4. 極地方から中緯度地域に向かって東から西へ吹く風で、北欧諸国の冬を厳しく冷え込ませる要因となる。 |
|---|---|--|--|

問4 年間降水量が極めて少なく、月平均降水量が10mmを下回るような乾燥した環境で、ぶどうなどの作物を栽培するために共通して行われている工夫や、その背景として最も適切な説明はどれですか。(2026年 沖縄公立入試 類似)

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 1. 河川や地下水から水を引く「かんがい」の仕組みを整え、水の不足を補っている。 | 2. 雨季に集中する大量の降水をためるためのため池を、耕地ごとに設置している。 | 3. 森林を焼き払って得られた灰を肥料として利用する、伝統的な焼畑農業を行っている。 | 4. 湿潤な気候を好むなつめやしの樹影を利用して、多量の水を必要とする稲を育てている。 |
|--|---|--|---|

問5 北半球の高緯度、概ね緯度60度付近に分布する気候帯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域は、最北部の「寒帯」の南隣に位置し、冬の寒さは極めて厳しいものの、夏には一定の気温上昇が見られるという特徴があります。(2022年 和歌山公立入試 類似)

- |  |                                    |                                    |  |
|--|------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 針葉樹の森林であるタイガが広がり、夏には樹木が成長できる程度の気温になる。 | 2. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が午後以降に降る。 | 3. 降水量が極めて少なく、砂漠や短い草の生える草原が広がっている。 | 4. 四季の変化がはっきりしており、落葉広葉樹や常緑広葉樹の森林が見られる。 |
|--|------------------------------------|------------------------------------|--|

問6 世界の各地域の気候を比較したとき、南アメリカ大陸のチリ中部、ブラジルのアマゾン川流域、オーストラリア北部、北欧の4つの地域のうち、温帯に属する場所はどこですか。(2022年 徳島公立入試 類似)

- |         |            |              |       |
|---------|------------|--------------|-------|
| 1. チリ中部 | 2. アマゾン川流域 | 3. オーストラリア北部 | 4. 北欧 |
|---------|------------|--------------|-------|

問7 日本付近の天気は、一般的に西から東へと移り変わる傾向があります。このように気圧配置や天気が移動する主な原因となっている、上空の風の性質として最も適切な説明を選びなさい。(2016年 鹿児島県公立入試 類似)

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹くため、低気圧などを東へ押し流す。 | 2. 赤道付近の低気圧に向かって、低緯度帯を一年中吹き続けることで、上昇気流を発生させる。 | 3. 大陸と海洋の温度差によって夏と冬で吹く方向が逆転し、日本の四季の変化をもたらす。 | 4. 北極付近から南下するように東から西へ吹き、北半球の寒気を南へ運ぶ役割を持つ。 |
|--|---|---|---|

問8 地中海沿岸のアフリカ北部など、夏に日差しが強く、乾燥した気候が続く地域で見られる伝統的な生活様式の特徴として最も適切なものはどれですか。(2025年 埼玉県公立入試 類似)

- |  |   |                                      |  |
|--|---|--------------------------------------|--|
| 1. 日差しを避けるために窓を小さくした家屋に住み、乾燥に強いオリーブなどを栽培する | 2. 風通しを良くするために窓を大きくした高床の家屋に住み、天然ゴムを採取する | 3. 冬の寒さに備えて壁を厚くした二重窓の家屋に住み、春に小麦の種をまく | 4. 激しい雨を流すために屋根の傾斜を急にした家屋に住み、二期作による稲作を行う |
|--|---|--------------------------------------|--|

問9 乾燥帯の地域で行われている「遊牧」という生活様式において、人々が移動を繰り返しながら家畜を飼育している理由として、最も適切な説明はどれか。(2026年 大阪公立入試 類似)

- |                                   |                                       |  |                                       |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 降水量が少なく、家畜の餌となる草や水が一箇所では不足するため | 2. 家畜が病気になるのを防ぐために、常に新しい土地の空気に触れさせるため | 3. 大規模な牧場を柵で囲い、効率的に食肉や乳製品を輸出するために生産を行うため | 4. 森林を焼き払って灰を肥料とし、農地を定期的に変えながら栽培を行うため |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|

問10 ある都市の気候統計では、7月の平均気温が最も低く、1月の平均気温が20度を超えて最も高くなっています。また、降水量は極端に少なくはなく、年間を通じて一定の変動が見られます。この都市の気候区分とその理由の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2022年 山形公立入試 類似)

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 南半球の温帯に属する。7月に気温が低いいため南半球であり、気温の変動と降水量から温帯と判断できる。 | 2. 北半球の温帯に属する。四季の変化がはっきりしており、1月に気温が高くなるのは北半球の夏にあたるからである。 | 3. 低緯度の熱帯に属する。1年を通じて気温が高く、降水量が多いため、気温の折れ線がV字型になることはない。 | 4. 南半球の乾燥帯に属する。7月に気温が低くなるのは南半球の特徴だが、温帯に比べて降水量が極端に少ない。 |
|--|--|--|---|

問11 世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物(小麦)」であるものとします。(2020年 三重公立入試 類似)

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。 | 2. とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。 | 3. 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。 | 4. ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。 |
|--|---|--|--|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 高温多湿な環境によって植物が一年中成長し続けるため、常緑広葉樹が密に茂るジャングルなどが形成される。	熱帯の中でも特に降水量が年間を通じて多い地域（熱帯雨林気候）では、植物にとって理想的な高温多湿の条件が続くため、多様な樹木が密集して育ちます。これを東南アジアやアフリカではジャングル、南米のアマゾン川流域ではセルバと呼びます。選択肢にある「高床式住居」は熱帯でも見られますが、その理由は「永久凍土」ではなく、通気性の確保や浸水被害の防止、害虫対策などが主目的です。
問2	答え 1 建物からの熱が地面に伝わると永久凍土が融解し、地盤が不安定になるため、杭を硬い地層まで深く打ち込んで建物を支えている。	シベリアのような永久凍土地帯では、建物の熱による地盤の融解が大きな課題となります。対策として、床を浮かせるだけでなく、建物の重さを支える杭を、季節によって溶けることのない深い部分の永久凍土まで打ち込む手法が取られます。これにより、表面の土が夏に多少融解したり、建物の熱が伝わったりしても、建物全体が傾くのを防ぐことができます。
問3	答え 1 中緯度地域の上空を一年中西から東に向かって吹く風で、暖流の北大西洋海流と共に西ヨーロッパに温暖な気候をもたらす。	偏西風は、地球の中緯度地域において一年中西から東（日本を含む緯度帯では天気は西から東へ変わる要因）に向かって吹いています。西ヨーロッパにおいては、北大西洋海流という暖流の上を吹き抜けることで、高緯度であるにもかかわらず、不凍港が維持されたり冬の気温が下がりにくかったりするなどの恩恵をもたらしています。
問4	答え 1 河川や地下水から水を引く「かんがい」の仕組みを整え、水の不足を補っている。	乾燥帯では蒸発量が降水量を上回るため、農作物の栽培には外部から水を引く「かんがい」が不可欠です。北アフリカから西アジアにかけては、カナートと呼ばれる地下水路や、ナイル川のような外来河川の水を活用することで、ぶどう、オリーブ、なつめやしなどの栽培が可能になっています。焼畑農業は主に熱帯で見られる手法であり、乾燥地では森林自体が乏しいため行われません。また、稲は乾燥地で主力となる作物ではありません。
問5	答え 1 針葉樹の森林であるタイガが広がり、夏には樹木が成長できる程度の気温になる。	北緯60度付近に位置する冷帯（亜寒帯）は、高緯度のため冬の寒さが非常に厳しいものの、より高緯度の寒帯とは異なり、夏には樹木が育つ程度まで気温が上がります。このため、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林が形成されるのが大きな特徴です。
問6	答え 1 チリ中部	南アメリカ大陸のチリ中部は、緯度や海流の影響によって四季の変化がある温帯に分類されます。これに対し、ブラジルのアマゾン川流域やオーストラリア北部は一年を通じて気温が高い熱帯に属し、北欧は冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）や寒帯に属しています。地理的な位置によって受ける太陽光の量や気圧帯の影響が異なるため、このような気候の差が生じます。
問7	答え 1 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹くため、低気圧などを東へ押し流す。	日本の気象において、天気は西から変化するのは上空を流れる偏西風の影響です。偏西風は中緯度帯において一年中西から東へ吹いているため、発生した低気圧や高気圧、雲のまとまりを西から東へと移動させるコンベヤーベルトのような役割を果たしています。これにより、日本近海では西側の天気を観察することで、その後の天気を予測することが可能になっています。
問8	答え 1 日差しを避けるために窓を小さくした家屋に住み、乾燥に強いオリーブなどを栽培する	地中海沿岸の地域では、温帯のうち「地中海性気候」に属し、夏は亜熱帯高圧帯の影響で日差しが強く、乾燥した気候となります。このような自然環境に対応するため、家屋は外からの熱や強い光を遮断するように窓を小さく設計する工夫がなされています。また、農業面では夏の乾燥に耐えられるオリーブやぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われています。
問9	答え 1 降水量が少なく、家畜の餌となる草や水が一箇所では不足するため	乾燥帯は蒸発量が降水量を上回り、植物が育ちにくい環境にあります。一箇所に留まり続けると家畜が周囲のわずかな草を食べ尽くし、飲み水も枯渇してしまうため、限られた資源を求めて広い範囲を移動し続ける必要があります。なお、特定の場所で柵などを用いて飼育する方法は「放牧」と呼ばれ、森林を焼く手法は「焼畑農業」と呼ばれます。
問10	答え 1 南半球の温帯に属する。7月に気温が低いいため南半球であり、気温の変動と降水量から温帯と判断できる。	7月に気温が下がるのは、北半球が夏の時期に冬を迎える南半球特有の現象です。また、熱帯のように年中高温ではなく、乾燥帯のように降水量が極端に少ないという条件から、この地域は南半球の温帯に該当すると判断できます。
問11	答え 1 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。	生産量と輸出量の統計が一致しないのは、その国における国内消費の規模が関わっているためです。中国やインドは人口が非常に多く、生産された小麦の多くが自国で消費されます。一方、ロシアやアメリカ、カナダは人口に対して生産量が極めて多いため、世界的な輸出拠点となっています。ちなみに、アメリカが生産・輸出とともに圧倒的なシェアを持つ作物は、主に飼料用として利用されるといっても過言ではありません。